

はじめに

智慧ある人か、愚かな人か——11

ウルトラ・ユメーンとオメガ点——14

超人類社会の出現——15

超・愚人の登場——16

狂ったサル——17

ヒトでないヒト——20

地獄の終末か輝く未来か——22

『われ思う、ゆえに』——25

ホモ・スツルツスよりの脱却——27

仏教をシステム化したお経——28

「四苦・八苦」——この人間の基本的な苦惱くるしみ 人間の六十種の「まごころ」を説く序として

1 人生は「苦」の連続である 33

美しく大きなヒト——ゼウスの実験——33
ゼウスの煩悶は私たちのすがた——36

2 人生・八つの苦しみ 38

仏教のテーマ——38

「四苦」生—老—病—死——40

「生」の苦しみ——41

「老」の苦しみ——47

「病」の苦しみ——49

「死」の苦しみ——50

「怨憎会苦」憎みあう相手と暮らす苦しみ——52

「愛別離苦」愛するものと別離する苦しみ——54

「求不得苦」求めて得られぬ苦しみ——56

「五蘊盛苦」意のままにならぬ故の溜息ためいき——57

3 「苦」からの脱出 60

解決・四つのパターン——60

解決のパターンその1・小乗——61

解決のパターンその2・権大乘——63

解決のパターンその3・大乘——65

解決のパターンその4・金剛大乘——68

4 心の機構と頭脳 70

A 生理学の立場から——70

人間に内在する二つの人格の葛藤——75

B 心理学の立場から——78

新しい解決のパターン——83

金剛大乘のシンボル「求聞持法」——86

新しい四苦・八苦——公害の問題——92

5 増大するエネルギーとその制御パターン——94

巨大な生産出力——94

制御パターンとしての宗教——99
宗教改革の「核」——密教——104
新しい密教の能力開発システム——108

◎本編

心相六十心 秘密經典『大日経』住心品の解説

心相六十心

113

◎一 貪心(どんしん)

117

トルストイの民話——117

西郷南洲と諸葛孔明——120

依止するところなし——121

染法に随順す——124

◎二 無貪心(むどんしん)

131

良いことには執着せよ——131
お釈迦さまの大きな欲望——133

◎三 瞋心(しんしん)

135

人間の根本悪——135

勝海舟の偉さ——137

◎四 癡心(ちしん)

140

因縁因果の法則を無視する——140

因縁の点数——141

因縁点数法の具体例——146

◎五 慈心(じしん)

153

大慈悲心と小慈悲心——153

フランクリンの挿話——155

義理・人情を容れぬ真の大慈悲——158

◎六 智心(ちしん)

162

大智と小智——162

仏の十智力——166

◎七 決定心(けつじょうしん)

教えを実行する二つの心がまえ——187

驚異の脳開発法——190

古き良き酒を新しい革袋に盛る——195

現代はアクウェーリアスの時代——198

新手一生——200

◎八 疑心(ぎしん)

よいものを疑う——203

◎九 闇心(あんしん)

四諦の法門——207

◎十 明心(みょうしん)

三法印——212

諸行無常——214

諸法無我——219

涅槃寂靜——220

「触媒」の作用をする「縁」とは——221

信ずるために疑う心——222

◎十一 積聚心(しゃくじゅしん)

足を靴にあわせろ——228

◎十二 闘心(とうしん)

好んで是非する——231

◎十三 諍心(じょうしん)

自問ばかりで自答が出ない——235

秀吉の頭脳の回転——238

◎十四 無諍心(むじょうしん)

水鏡道人の 好好——241

◎十五 天心(てんしん)

世俗の超能力ブーム——244

187

203

207

212

228

231

235

241

244

天部の神々の通力つうりき—— 246

◎十六 阿修羅心(あしゅらしん)——

255

生死の世界を解脱する—— 255

密教修行者の法悦—— 260

◎十七 龍心(りゅうしん)——

264

南海の龍—— 紀州頼宣—— 265

龍趣の境界—— 268

◎十八 人心(にんしん)——

275

上求菩提じやうきゅうぼだいと下化衆生げけしゆじやう—— 275

人々の恩恵で生きる自分—— 278

平均的人間からの脱出—— 280

「どちらさんでしようか？」—— 283

「利他の行」で徳を積む—— 292

あとがき——

296